

# エンカウンター（ENCOUNTER）

## 第 46 号

平成 18 年 2 月 20 日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

### L・B・カウマン「山頂をめざして」より（1）

L・B・カウマン夫人（1868 - 1960）

レティー・バード・カウマン夫人は、アメリカ・アイオワ州で、銀行家の裕福な家庭に生れた。1889年（明治22年）鉄道電信技手のチャールズ・E・カウマンと結婚、1894年シカゴのムーディー聖書学院に学んだ。（モーク先生も1913年からムーディー聖書学院に学んだ。）

明治34年、チャールズと共に来日、中田重治らとともに日本の伝道ために働かれ、明治38年東洋宣教会（OMS）を設立した。大正6年、東洋宣教会から、東洋宣教会ホーリネス教会が生れた。これにより日本宣教の基礎がすえられ、後任をキルボルンと中田重治に託し、ご主人の病気もあり、大正7年帰国した。（内村鑑三は、大正7、8年、中田重治らとともに、再臨講演会を開いた。小西先生は、大正7年5月中田重治の特別伝道を聞き、6月受洗した。）

1924年（大正13年）チャールズの召された後、1928年から1949年まで、OMS（東洋宣教会）総理を務めた。東洋宣教会は、日本で発足した団体であるが、本部は、アメリカカリフォルニア州ハリウッドにおかれ、世界中の国々に宣教のクルーセードを行った。L・B・カウマン夫人は、現代で言えば、ビリー・グラハムのような活躍をした大伝道者であった。

カウマン夫人は、宣教のため、伝道者の書物、文章、詩などから編集した多くの霊想の書（内村鑑三の「一日一生」のような一日ごとに霊的な文章を編集した本）を出版した。スポルジョンから、大きな影響を受けた。次のような本が、日本で翻訳発行されている。

「荒野の泉」 福音文書刊行会、いのちのことば社 1960年

「山頂をめざして」 いのちのことば社 1963年

「荒野の泉第 編」 日本ホーリネス教団出版部 1980年

「日の出に向かって」 " 1986年

「谷間の泉」 " 1994年

「慰めの泉」 " 1997年

「潤った園のように（現代版「荒野の泉」）」 " 1999年

この中で、「荒野の泉」と「山頂を目指して」は、ご一読をお勧めする。伝記「幻は生きつづける」（日本ホーリネス教団出版局）も、すばらしい。

## 1月2日

イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩いて行かれた。

（ルカ 24・15）

一年の門口に立つ私たちは、まず、ひざまずいて、出発に先立って神が私たちを祝福して下さるように祈ろう。導きを祈り求めることなしには、私たちは、自分の道に、一步さえあえて踏み出すことはできないのである。

私たちは、力を、忍耐力を、勇気を、不屈の精神を祈り求めよう。私たちが希望と新たな信仰とをもって前進し、強力な武器をもって最後の勝利を得ることがするために。

道を歩みなさい。寂しい道を歩みなさい。勇気を出しなさい。恐れてはならない。彼は、はるか以前にエマオの道を歩まれたように、あなたとともに歩まれるであろう。

1月6日

今あなたは、わたしを呼んで言ったではないか、「わが友よ、あなたはわたしの若い時の友です……」と。（エレミヤ3・4）

人生の航海において、どのようなコースをとれば確実に成功することができるであろうか。

- 1 創造者なる神の、人生におけるご計画を、全面的に受け入れ、どのような犠牲を払い、どのような道をたどろうと、神のみこころに全くゆだねること。
- 2 毎日、規則正しい、組織的な、決して中絶することのない祈りの生活をする事。
- 3 日々、靈感された神のみことばである聖書によって、内なるいのちを養うこと。
- 4 同じ目的をもって高みへと登りつつある兄弟姉妹と交わる事。
- 5 絶えずあかしをし、愛の奉仕をすること。

人生の航海における偉大な水先案内人であられる神は、あなたの船を支配し、あなたとともに航海し、あなたを安全に港に導かれるのである。

1月15日

朝早くわたしを求める者は、わたしに出会う。(箴言 8・17)

朝のわずかな時

人生の労苦が始まる前に、  
世的なものを受け入れる心の戸が  
開かれる前に、  
おお、その時、朝の静けさのうちに、  
あなたはひとりイエスとともにいて、  
天の麗しい交わりのうちに、  
あなたの毎日を生れさせなさい。  
一日の序曲、静かな祝福のうちに  
露がばらの花をよみがえらせるように、  
柔らかく、穏やかにしなさい、  
あなたの魂を。  
朝のわずかな時、  
手にあなたの聖書を取って、  
平和な約束の地からの  
栄光のきらめきをとらえなさい。  
あなたが忙しい仕事につくときも、  
それは、あなたの前にとどまって、  
希望の花そのままに、  
美しくあなたの心に咲くでしょう。  
宝石のように尊いみことばは、  
比べることのできないほどの輝きを持ち、  
一日じゅうきらきら光って、  
あなたのすべての道を明るくするでしょう。

1月24日

互に呼びかわして言った、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、  
万軍の主、その栄光は全地に満つ」。 (イザヤ 6・3)

詩人ブレイク(注)は、海岸に立ち、大洋のかなたから日が上るのをながめていた。空も、海も、屈折光線で輝いている。日輪が、今まさに水平線上に姿を現わそうとしている。そのとき彼は、自分のそばにひとりの男が立っているのに気がついた。ブレイクは恍惚としてふり向き、日の出を指さして叫んだ。

「ごらんなさい!ごらんなさい!あなたはあれをどうごらんになりますか」。

男は答えた。

「ええ、まるで、お金 金貨 のようですね。あなたはどうですか」。

ブレイクは答えた。

「私は神の栄光を見ます。そして、おびただしい天の軍勢が『聖なるかな、聖なるかな、万軍の主』と言っているのを聞きます」。

A・W・トーマー

(注)ブレイク(1757 - 1827)イギリスの詩人、画家。

1月27日

わたしたちは、.....完成を目ざして進もうではないか。

(ヘブル 6・1)

一つの重要な目的に注意を集中し、日々、その達成のために全力を尽くす。このような青年は、真にすばらしいわざを成し遂げるのである。...

あなたが新しい年の決心を固める助けとなる幾つかの示唆を、次に掲げよう。

私は神の恩寵により、次のことを決心する。

- 1 決して他の人々をさばかない(第1コリント4・3 - 5)。
- 2 その場にはいない人々の欠点や失敗を論議することを決してしない(箴言16・28)。
- 3 決して秘密を漏らすことをしない(箴言11・13)。
- 4 決して人のことを言いふらさない(箴言17・9)。
- 5 他人の益になる事を何も言うことができない時は、むしろ沈黙を守る(テトス3・2)。
- 6 口に門守を置く(詩篇39・1)。
- 7 常に最善の動機をもつようにする(第1コリント13・7)。
- 8 少なく語り、多く聞く。
- 9 友好的であることに努める。
- 10 常に礼儀正しくする。
- 11 借金をしない。
- 12 1持間の充実した読書をする。
- 13 忍耐力を養う。
- 14 もし右の決心が一つでも守れなかった時には、悔い改め、直ちにそのことを告白し、必要ならば、傷つけた兄弟の許しを求める。

1月29日

あなたはさとしをもってわたしを導き……（詩篇 73・24）

人の戦い、国民の戦いは、しばしば、瞬間における決断によって、勝敗が決まるのである。

「わたしはあなたを教え、あなたの行くべき道を示し、わたしの目をあなたにとめて、さとすであろう」（詩篇32・8）

エーブラハム・リンカンは、南北戦争のときこう言った。

「私はしばしばひざまずいて祈らざるを得なかった。それ以外にどうする事もできないことを確信させられたからである。私自身の知恵も、また周囲のすべての人の知恵も、そのような事態に対処するには不十分と思われたのである」。

2月2日

キリスト・イエスの良い兵卒として、わたしと苦しみを共にして  
欲しい。（第2テモテ 2・3）

ロバート・ルイス・スティーブンソンは言っている。

「この世には、ただ二つのタイプの間があるだけである。その一つのタイプは、アルプスの峻険をよじのぼる登山家によって表わすことができる。彼は小道を作りながら、高い所に登る。このようにして、彼に従って来る者のためにも安全な道を作るのである。こうして彼は頂上に達する。そこでは空は澄み渡り、地平線は限りなく広がっており、空気はさわやかである。彼はからだじゅうに血を沸き立たせ、胸いっぱい息を吸い込む。自分自身のわざにおいても、また案内役としても、彼は、男らしく、最善をなしたのである。これが一つのタイプである。

もう一つのタイプは、私の知っているひとりの薬屋によって表わされる。彼はかぜをひくことを恐れて家のなかに引きこもり、えり巻きをし、なまぬるいミルクを飲んでいた。彼は、自分の小さな店の中をぐるぐる歩き回りながら、自分のことばかり考えていた。自分自身を甘やかしていたのである。彼にとっては、地平線も、高い山も、上方への道も、頂上を目指して登る他の人々につけておく足跡も、何もなかった。」



2月3日

すべてのことにあなたの進歩があらわれるため、これらのことを  
実行し、それを励みなさい。（第1テモテ 4・15）

もし、あなたに、毎日、朝と夜、10分か15分の時間があるなら、神のみことばである聖書を読みなさい。そして、ただ読むだけでなく、少しずつ連続して読みなさい！ こうする事によって、あなたは、「神のみ旨を皆あますところなく」把握するであろう。... あせってはならない。待ち、熟考し、そして祈りなさい。

「なんという本だろう！ この世界のように広大であり、創造の深遠に根ざし、天の紺碧の奥義の背後にまでそびえ立っている。日の出と日の入り、約束と成就、生と死、人間の全ドラマはことごとくこの書の中に収められている！」 ハインリッヒ・ハイネ

大部分の人々は、神の啓示の重要さを忘れ、気まぐれな流行によって魂の満足を得、自分の心を啓発しようとする。しかし、私たちは聖書 巡礼の道を照らす灯火であり、キリスト者なる水夫を導く海図である聖書 にすがりつくのである。

その本、その場所

ついに、聖書に落ち着いた。

書物の中の書物である聖書に。

ついについに私は来た、

小さな壁に囲まれた祈りの部屋に。

2月4日

目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備えられた。

(第1コリント 2・9)

強くあれ！

遊ぶため、夢みるため、さ迷い歩くために

私たちはここにいるのではない。

私たちにはなすべき困難な仕事があり、

持ち上げるべき重荷がある。

戦いは避けてはならないのだ。

直面せよ、それが神の賜物なのだ。

強くあれ！

時代が悪い、と言ってはならない。

あなたはだれかに責任があるというのか。

腕をこまねいて、ただ黙ってみているなんて、

ああ、なんという恥ずべきことだ！

立ちあがれ、そして語るのだ、

神の御名によって、勇敢に。

強くあれ！

悪がどんなに堅く身を固めているか、

そんなことは問題ではないだろう。

戦いがどんなに激しいか、

そして、その日がどんなに長いか、

そんなことは問題ではない。

くじけるな、戦い続けよ

そうすれば、あすには歌がある。(マルトビー・D・パブコック)

2月10日

あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。悪しき日がきたり、  
年が寄って、「わたしには何の楽しみもない」と言うようにならない  
前に。(伝道 12・1)

青年時代は成就の時である。私たちの住むこの世界において、多くの事が、若い男女によって成し遂げられてきた。そして、多くの偉大なわざが、今日の青年たちによってなされることであろう。...

ベンジャミン・フランクリンは、16歳のとき、著書を出版した。

ドワイト・L・ムーディは18歳の時に、チャールス・スポルジョンは16才の時に説教した。

ヘンリ・W・ロングフェローは、19歳のとき近代語学の教授になり、26歳のときには人々から非常に愛された詩人であった。

現在ほどすばらしい時はない。今始めなさい！

サー・ウォルター・スコットは言った。「英語のアルファベットの  
中で最も素晴らしい3字は、N - O - W (今) である。」

「見よ、今は恵みの時である。」

2月18日

かおりを放ち、...来るものは何か。 (雅歌 3・6)

「シャロンのばらといっしょに住むことを愛する人々は、たとえ彼ら自身は卑しい者たちであるとしても、麗しいかおりを周囲に発散させるのではないだろうか。」

「キリストは.....わたしたちのために、ご自身を、神へのかんばしいかおりのささげ物、また、いけにえとしてささげられたのである。」

このかおりは、私たちがそれを受け、他の人々に伝えるためのものである。神は、私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを、私たちの行くすべての場所において放とうとしておられるのである。

私たちの生まれつきの魅力がどんなに少ししかなくても、もし私たちの主の御前にとどまるならば、私たちは、主の麗しさと主のかおりを現わすことであろう。

マリヤは、疑いもなく、静かに、目だたないように、香油を主の御足に塗ったのであるが、香油のかおりは家にいっぱいになったのである。